

## 平成27年度における退職報償金の支払状況

(退職報償課)

平成27年度における退職報償金の支払人数・支払額等について、その概要を以下に紹介します。

### 1 支払状況

平成27年度の支払人数は45,278人、支払額は17,595,969千円となっています。前年度に比べると、支払人数で8人増(0.02%増)、支払額で1,596,786千円増(10.0%増)と、いずれも増加しています(図1)。

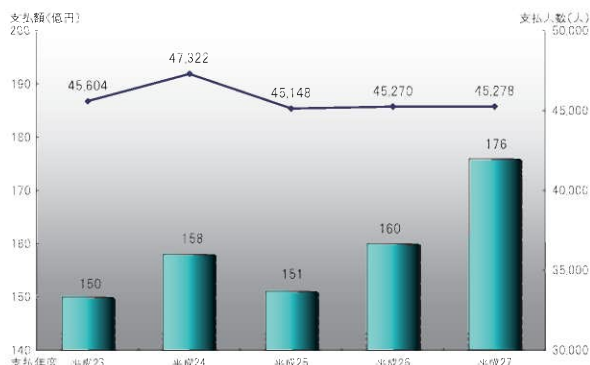


図1 支払人数と金額 (最近5か年)

1人当たりの平均支払額については389千円となっており、前年度と比べると、36千円増加しています(図2)。これは、平成26年度に退職報償金が大幅に引き上げられた結果、支払額が増加したことが主な要因です。また、最近に見られる増加傾向については、経験を積んだ熟年層団員の割合が増加し、勤務年数が長期化していること(図4にて後述)が要因として考えられます。

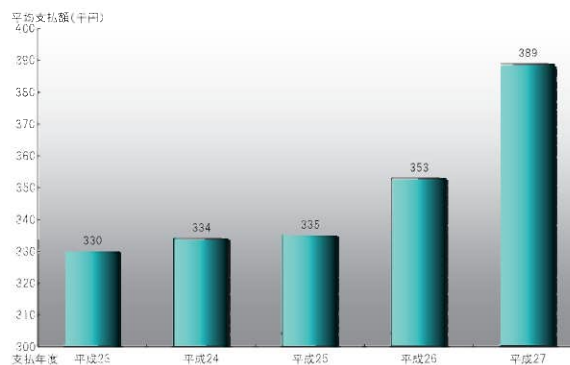


図2 平均支払額 (最近5か年)

### 2 支払人数

支払人数について見ると、階級別では、「団員」の15,446人(34.1%)が最も多く、続いて「班長」の10,500人(23.2%)、「部長」の9,218人(20.4%)

の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の77.7%を占めています(図3)。階級別支払人数に変化はあまり見られません。

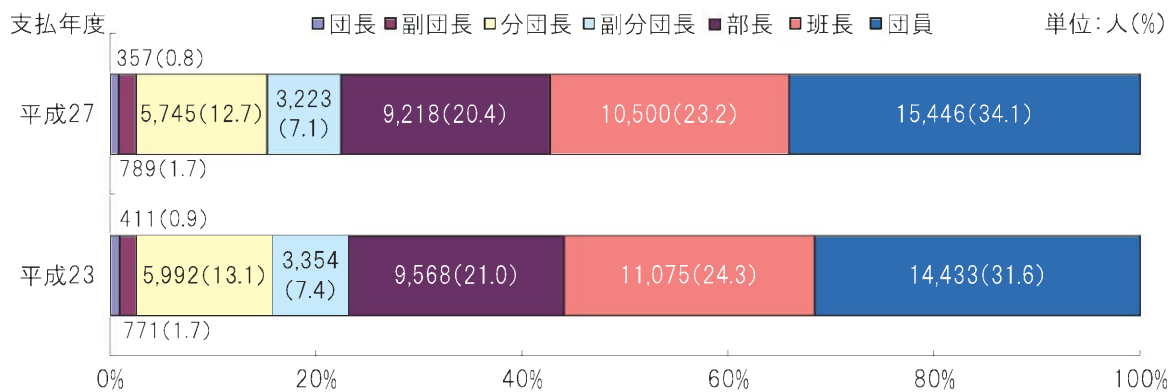


図3 階級別支払人数

勤務年数別では、「5年以上10年未満」の11,741人(25.9%)が最も多く、続いて「10年以上15年未満」の9,507人(21.0%)、「15年以上20年未満」の8,196人(18.1%)の順となっており、この3つの勤

務年数区分を合わせると全体の65.0%を占めています(図4)。平成23年度と比べると、20年未満が減少傾向であるのに対し、20年以上が増加傾向にあり、勤務年数の長期化が進んでいます。

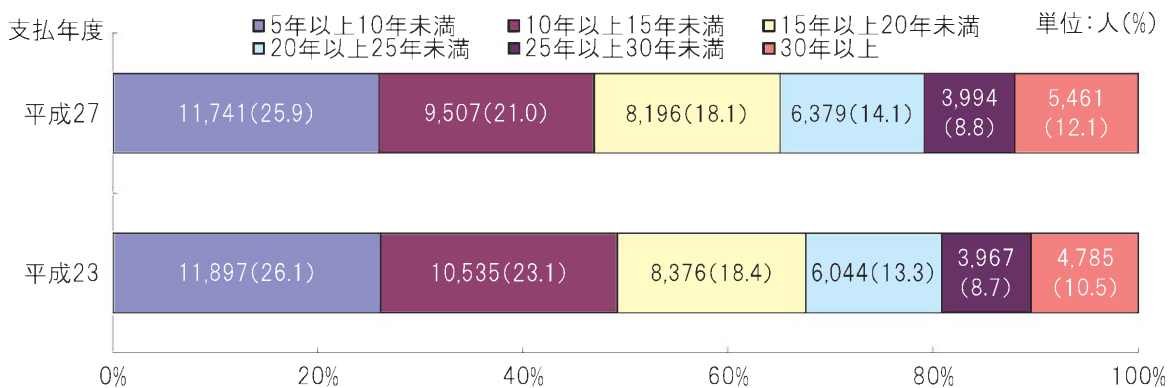


図4 勤務年数別支払人数

現年度・過年度別(※)では、「過年度退職者」の32,219人(71.2%)に対し、「現年度退職者」は13,059人(28.8%)となっています(図5)。平成23

年度と比べると、現年度支払人数の割合は減少しました。

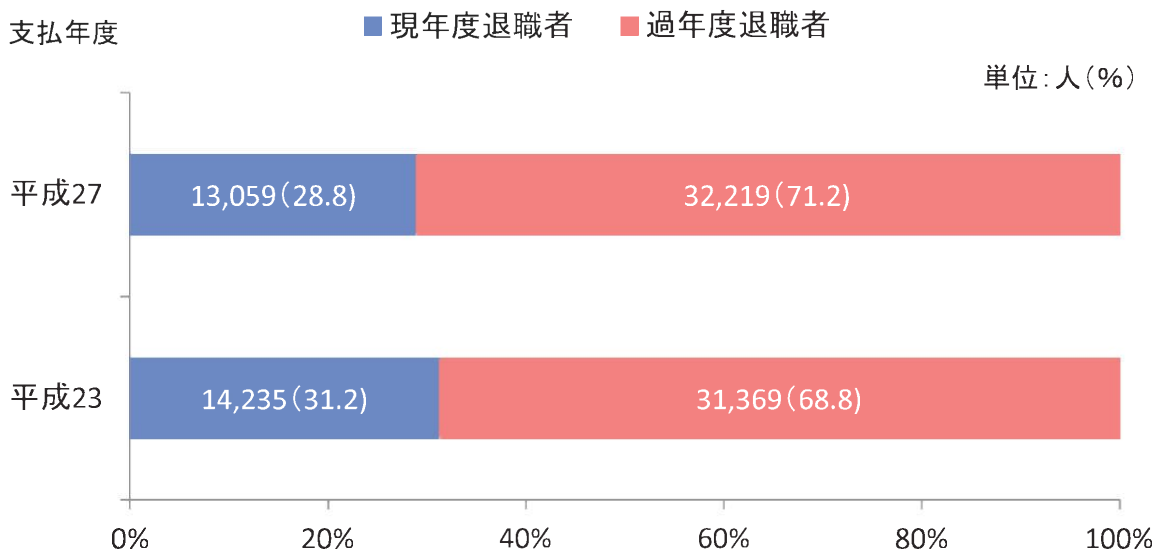


図5 現年度・過年度別支払人数

### 3 支払額

支払額について見ると、階級別では、「団員」の4,206百万円(23.9%)が最も多く、続いて「班長」の3,828百万円(21.8%)、「部長」の3,811百万

円(21.7%)の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の67.4%を占めています(図6)。

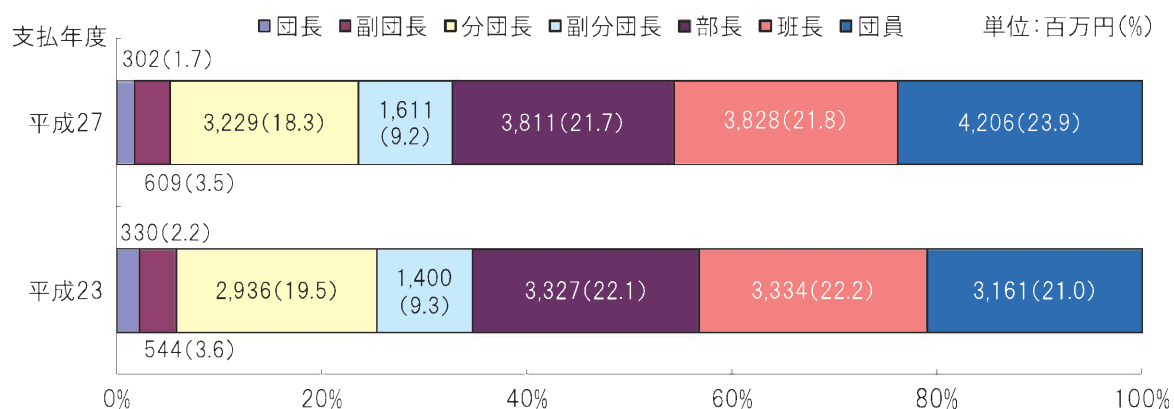


図6 階級別支払額

勤務年数別では、「30年以上」の4,376百万円(24.9%)が最も多く、続いて「15年以上20年未満」の2,966百万円(16.9%)、「20年以上25年未満」の2,871百万円(16.3%)の順となっ

ており、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の58.1%を占めています(図7)。平成23年度と比べると、30年以上の割合が増加傾向にあります。

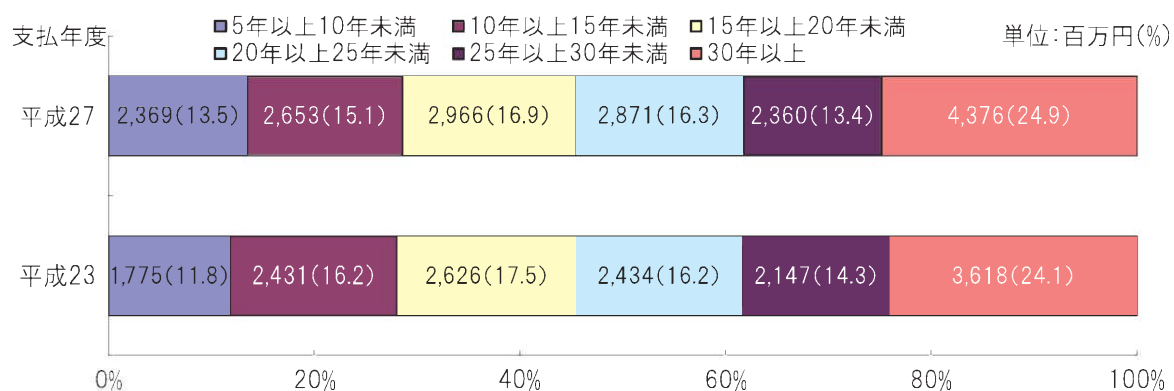


図7 勤務年数別支払額

現年度・過年度別では、「過年度退職者」の12,443百万円(70.7%)に対し、「現年度退職者」

は5,153百万円(29.3%)となっています(図8)。

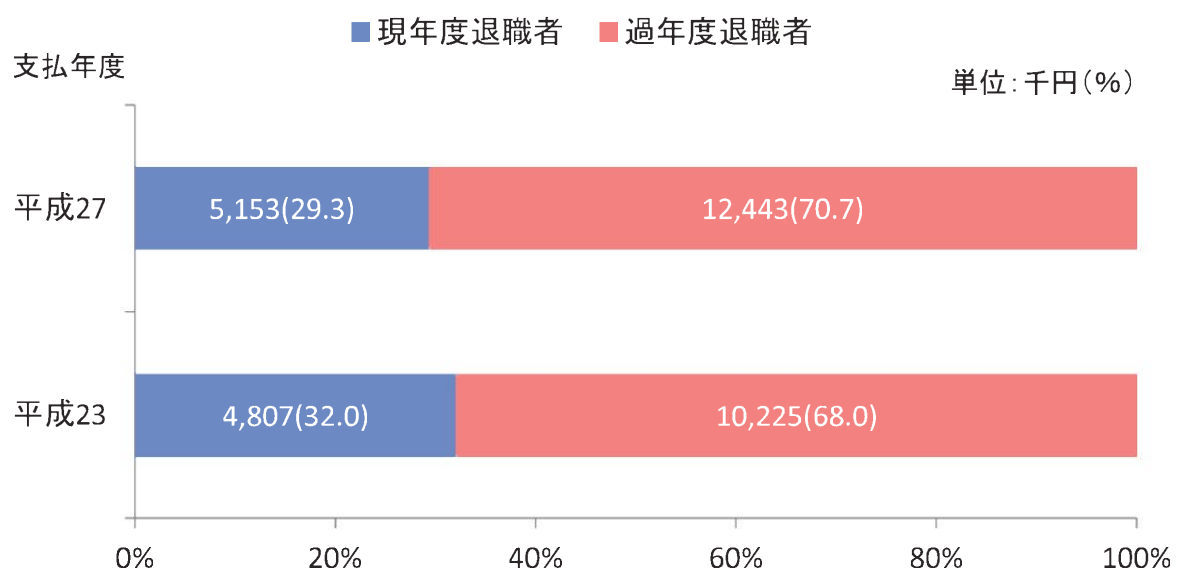


図8 現年度・過年度別支払額

※ 一つの支払年度において、当該年度中に退職した者を現年度退職者といい、当該年度前に退職した者を過年度退職者といいます。